

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八幡市地域包括ケア複合施設	階数	地上4階
建設地	京都府八幡市男山石城1-1~3	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	65人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年12月10日
敷地面積	2,838 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ゆう建築設計 加藤クリム
建築面積	883 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,713 m <sup>2</sup>	確認者	

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	73%
③上記+②以外の	72%
④上記+	72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 4  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
男山団地内に建つ施設として周辺環境との調和に配慮し、地域住民の方が気軽に入ることができるオープンな建物となるように配慮した。	0
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆または規制対象外の建材の採用。	<b>Q2 サービス性能</b> 居室の天井高を2.4mとした。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺環境に調和するように緑地を計画し、舗装材についても団地内と同様のものを採用した。	
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外皮の熱不可抑制に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の機器を採用した。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺環境に配慮した外構照明計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される